

浦安鐵鋼団地景況実感調査結果表
(平成23年12月分)

ご協力ありがとうございました。平成23年12月分の結果をお送りいたします。よろしくご査収ください。

調査対象 166社 回答 153社 回答率 92.2%

調査項目	前 月 比					計	前 年 同 月 比					計
	10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況		10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況	
売上数量	12社 7.8% (8.6)	14社 9.2% (22.5)	56社 36.6% (38.4)	46社 30.1% (22.5)	25社 16.3% (7.9)	153社	23社 15.5% (17.6)	31社 20.9% (25.0)	49社 33.1% (29.1)	27社 18.2% (16.2)	18社 12.2% (12.2)	148社
売上高	12社 7.8% (8.6)	18社 11.8% (22.4)	50社 32.7% (35.5)	49社 32.0% (23.0)	24社 15.7% (10.5)	153社	22社 14.8% (17.4)	34社 22.8% (27.5)	45社 30.2% (26.8)	31社 20.8% (16.8)	17社 11.4% (11.4)	149社
在庫数量	3社 2.1% (2.7)	32社 21.9% (17.6)	72社 49.3% (51.4)	36社 24.7% (25.0)	3社 2.1% (3.4)	146社	11社 7.9% (11.1)	23社 16.5% (20.8)	71社 51.1% (43.1)	22社 15.8% (18.8)	12社 8.6% (6.3)	139社
販売単価	3社 2.0% (0.0)	4社 2.7% (4.8)	98社 65.8% (65.3)	43社 28.9% (26.5)	1社 0.7% (3.4)	149社	5社 3.5% (3.5)	32社 22.2% (28.2)	67社 46.5% (45.8)	34社 23.6% (19.0)	6社 4.2% (3.5)	144社
収益状況 (粗利)	7社 4.6% (4.0)	15社 9.9% (16.8)	58社 38.4% (47.7)	49社 32.5% (25.5)	22社 14.6% (6.0)	151社	13社 8.8% (7.6)	28社 19.0% (24.3)	51社 34.7% (39.6)	42社 28.6% (20.8)	13社 8.8% (7.6)	147社
稼働率 (生産・加工設備)	5社 4.0% (5.9)	15社 12.0% (15.1)	54社 43.2% (56.3)	37社 29.6% (17.6)	14社 11.2% (5.0)	125社	14社 11.6% (10.3)	26社 21.5% (27.4)	50社 41.3% (36.8)	20社 16.5% (15.4)	11社 9.1% (10.3)	121社
入出庫の トラック台数	5社 3.4% (3.5)	13社 8.9% (13.3)	74社 50.7% (59.4)	41社 28.1% (21.7)	13社 8.9% (2.1)	146社	13社 9.4% (7.9)	25社 18.0% (23.0)	65社 46.8% (41.7)	28社 20.1% (19.4)	8社 5.8% (7.9)	139社
	現在の景況感					144社	3ヶ月後の景況予測					139社
	2社 1.4% (2.1)	10社 6.9% (9.1)	68社 47.2% (42.7)	45社 31.3% (24.5)	19社 13.2% (21.7)		3社 2.2% (1.5)	22社 15.8% (19.1)	88社 63.3% (58.8)	22社 15.8% (16.9)	4社 2.9% (3.7)	
特記事項	今月も各品種の〔特記事項〕が数多く寄せられましたので、別送にてお知らせいたします											

- 注 ①調査対象会社数は浦安に事業所の無い会社（不在地主など）は除外してあります
 ②()内の数字は前月のパーセントです
 ③結果表は全品種の動向として集計し、品種別の要因を取り上げる必要がある場合は
 特記事項欄に別途記載いたします
 ④本調査の宛先等の変更は、浦安鐵鋼団地協同組合事務局までご連絡ください
 事務局 TEL：047-350-5311 FAX：047-350-5316

景況実感調査(12月) 特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんのコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

[お断り]毎月のコメントはあくまで個々の“生の声”です。業界全体の標準的見解とは、若干異なる場合もあります。また、不適當な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

薄板・表面処理鋼板

- ① 建材系需要家の動きは堅調であったが、各流通が潤うほどの荷動きはなかったと思われる。来年度以降は、復興関連で需要があるという話がよくあるが、具合的な動きがあるまでは油断できない。引き続き、各需要家への細かいケアを行っていく。
- ② 一部品種を除いて、11月より売上、数量とも減少となった。関東以北は復興関連工事も引き続き出て来ており、職人不足による工事の遅れや工事単価の是正等、市況回復への期待も持てる。円高や海外の不安要因の影響が、これからも気の抜けない年となるが、何とかメーカーやCCの統合と併せて良ききっかけとしたい。年明けの信用不安、与信管理は、金融円滑化法の延長も決まったが、要注意と考えている。
- ③ 前月に引き続き、震災後のインフラ関連引合い件数および実需が漸増しつつあり、徐々に復興の動きを感じつつあるが、本格化へはもう少し時間がかかりそうである。鉄、ステンレス等材料は原料価格低下および円高の影響で海外品流入に伴って、製品価格は低下傾向にあり、需給緩和が強く、買い控え状況が懸念される。
- ④ 建築関連の動きが、緩やかではあるが着実に回復基調にある。その他、小口の復旧工事も出ており、動きは良くなって来ている。ただし、職人不足で消化能力が低く好況感はない。なお、与信環境はいつそう厳しさを増しており、嚴重注意。
- ⑤ 年末に向けて心配なのは薄板および自動車向けの商社在庫の市中への転売である。
- ⑥ 稼働日数も少なく、日割りトン数では厳しい月となった。
- ⑦ I S U Z Uは決算前の作り込みか、2.5倍の生産量になる見込み。建産機は依然好調を維持。

中板

- ① 12月の販売量は前月比横這いで推移。先行き不透明感は拭えず、各社とも当用買いに徹している。輸入材を中心とした安値攻勢も散見され、在庫コストから厳しい環境が続いている。需要、とくに建設関連の回復に期待するが、競合が多く、価格競争に巻き込まれるのは必至の状況。急激な回復は見込めない中、厳しい状況が続くと予想される。
- ② 年末に入ったが、昨年以上に引合いが少なく、20日過ぎには閑散とした商いの状況だ。価格も厳しく、買い手の意向に合わせた形で、販売量、粗利益ともに減少の一途だ。新春の商いも静かな内に始まりそうだ。

厚板

- ① 当月は前月と同様、大半が土木関係の加工であり、橋梁は継続物件のみであったが、来月以降は新規橋梁の加工が上積みされるため、しばらくは相当高い山積で推移する予定。ただし、春先以降は現時点では未だあまり仕事量が見えておらず、新規案件の出件が期待される。厚板としては全般的に需要が少なく、高炉メーカーも以前とは異なり、積極的な販売姿勢になって来ており、価格的にも原材料の下落もあって、値上げ姿勢が強かった上期に比べ柔軟な対応が見られる。したがって、切板価格や加工賃にも、今後いろいろな影響が出て来るものと予想される。

一般開金鋼

- ① 小口ばかりの荷動きだが、順調に震災前の水準に復している。来1～3月期の売上については、少なくとも現状維持、期待を込めて15%程度増加で、現状を下回ることはないだろう。新年度からは本格的復興需要も出てくるので、この間に国内製造業空洞化、鋼材需要減少化対応策を見極めておく必要あり。
- ② 建築現場が少ないことが原因で、大手ゼネコン、町場ゼネコンが安価で受注せざるを得ないために、下請け業者にも影響が出てくる。同じ商品を販売しているのは価格競争に巻き込まれてしまう。復興需要が出てくるのではないか。

HI開金鋼

- ① 市況の底打ちにはなったが、そこで止まっている感がある。次のステップに上がるためには需要増が望ましいが、あまり期待できない。メーカーの強い意思が感じられる対応が求められている。
- ② 東鉄の1月販価2円/kg値上げで年末には底値が切り上がった。年明け間もないので、現状、商売はあまりないが、市中在庫も少ないので、在庫店として徐々に市況アップを目指していく。

異形棒鋼

- ① 関東の鉄筋メーカーは、東鉄の下げに呼応せず頑張ったため、店売も下がらなかった。需要も足下はそこそこだと思ふ。

平鋼

- ① 価格は相変わらず弱含みだが、スクラップも反転し底値感が出てきた。1月のメーカー価格も値上げとなるが、仮需はまったくなく、荷動きは悪い。

鋼管

- ① 12月は11月より売上、利益ともに減少したが、昨年よりは良い環境になってきた。
- ② やっと一息。9～11月と前年割れだったが、12月は前年比プラス。
- ③ 10、11月より好転したが、好況とは程遠い内容である。

構造用鋼

- ① 需要環境は、紐付、店売ともに大きな変化はないが、先行きの不透明感がさらに強まっている。市況については、需要環境の変化もあり、また、高炉原料が値下がりすることもあり、さらに弱含みとなっている。
- ② 依然として自動車、建機は高い水準にあるが、先行き不透明感が強くなりつつある。店売は需要が少なく、足下弱含みとなっている。

その他

<曲げ加工>

- ① 12月に入って先月よりやや落ち込んだが、アングル、条鋼等の受注が多かった。しかし、要の重量物のH形鋼が少ないために、やや加工量が減少した。まだまだ総体的に見れば、従来の仕事量ではない。

<金属表面処理加工>

- ① 12月は紐付材が予想扱い量▲10%となるも、物件物の追加発注等により処理量維持。また、高付加価値仕様が増加し、平均単価も上昇。スポットはここ数ヶ月同様、短納期ではあるが、緊急対応を含め活発に推移。来年1月以降も紐付、物件物を中心に安定操業を維持出来そうである。